

宇宙ビジネス研究会

【内 容】



図1 講演の様子(第1回)

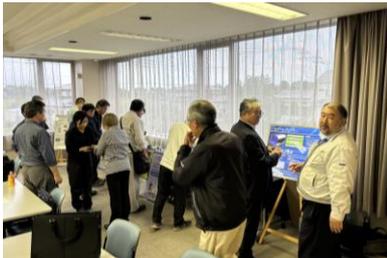


図2 意見交換の様子(第3回)

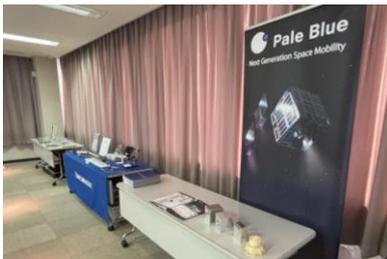


図3 参加企業の展示ブース(第4回)

当センターでは、宇宙産業への新規参入を目指す県内中小製造業者やソフト開発事業者を対象に、衛星関連機器などの宇宙機器の開発や実用化を目的とした、宇宙ビジネス研究会を立ち上げました。

本研究会では、宇宙関連機器の開発・製造に必要な知見を有する宇宙ベンチャー企業等を招いた講演や企業シーズ発表による勉強会・意見交換会を4回行いました。

この取組は、茨城新聞にも掲載(5/24)されるなど、注目を集めました。

第1回 5/29(水) 参加企業 17社 (23名)

- ・講演「宇宙関連機器の開発から実証までの手順等」
講師 (株)たすく 鈴木直志 氏
- ・企業発表 (株)菊池精機、スターエンジニアリング(株)、(株)ハソク

第2回 7/31(水) 参加企業 20社 (25名)

- ・講演「宇宙環境、試験評価、審査等」
講師 筑波大学 准教授 横田茂 氏

- ・企業発表 (株)ベテル、三和エドールヘアリング(株)、(株)サンテク

第3回 10/8(火) 参加企業 21社 (31名)

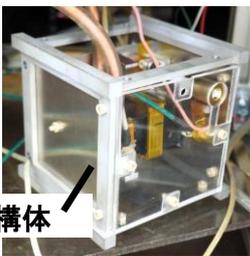
- ・講演「宇宙関連機器に求められる規格、仕様等」
講師(国研)JAXA 宇宙科学研究所 教授 宮崎康行 氏
- ・企業発表 大丸鐵興(株)、(株)アート科学、(株)SIJテクノロジー

第4回 12/9(月) 参加企業 20社 (27名)

- ・講演「宇宙ビジネス参入の経緯と実績等の成果」
講師 (株)Pale Blue 岩川輝 氏
- ・企業発表 新熱工業(株)、岩瀬光学(株)、日東電気(株)

【活動の成果】

本研究会において企業間交流などを促進することで、会員企業が宇宙関連機器を4件受注したほか、9件の見積依頼等に繋がりました。その一例を以下に示します。



衛星構体

図4 山野井精機(株)が製造した衛星構体

<事例>

山梨大学(青柳 潤一郎 准教授)がNEDO採択事業の研究で、軽量の超小型衛星構体(10cm角)の発注先を探しており、マグネシウム合金の加工技術を保有する会員企業(山野井精機(株))を紹介しました。

山野井精機(株)に対しては、センターが保有する超小型衛星に関する知見を活用し、構体の概略図作成等の設計支援、材料選定、強度、形状、加工方法・手順等に関する提案・アドバイス等を行いました。

これにより、山野井精機(株)は、マグネシウム合金製構体を製造し山梨大学に納品することができました。(図4)

【今後の展望】

会員31社のうち22社が、国内の宇宙機器サプライチェーンに貢献するネットワークである「IBARAKIスペースサプライネットワーク(2024.10.31発足、現在38社参画、事務局：県科学技術振興課)」に参画しており、さらなる受注獲得につなげるため、技術支援等を行っていく予定です。

基礎となった事業

令和6年度 オンリーワン技術開発支援事業(研究会)

担当グループ

研究推進G

グループ長

行武 栄太郎

TEL:029-293-7492

主任研究員

磯 直樹

主 任

安達 卓也